

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	プロダクトデザイン実習 1	
科目基礎情報							
開設学科	プロダクトデザイン科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修	時間数	60時間	
単位数	2単位		授業形態	実習			
教科書/教材	教科書：なし 材料：適宜配布または各自用意						
担当教員情報							
担当教員	袴田哲郎			実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー		
学習目的							
製図は物体の形状、機能および材質などを間違いなく他人に伝える手段である。基礎製図では形状や材質を表現する基礎的な共通ルールを学ぶ。また、受講生としてのマナーについても基本的な指導を行う。実技課題は定められた時間内に作成し教員のチェックを受ける。課題に訂正・修正などが必要な場合は、期限内に再提出する。							
到達目標							
製図法の基礎を習得できること。 製図用具を正しく使い丁寧に製図できること。 目的とする物体を第三角法で紙面に表現できること。 製図に関する規格に従って製作図を正しく読むことができること。 実技課題や定期試験対策の取り組み姿勢、提出期限を守るなど受講生としてのマナーを養う。							
教育方法等							
授業概要		図面は、あらゆる立体デザインおよび工業分野で用いられ、設計者の意思を製作者に正確に伝えるとても重要な働きを持っている。製図規格を理解し図面を正しく読み、製図用具を正しく使用して、線の種類を明確に区別し、必要事項の記入漏れがないよう、正確、丁寧に図面を描くように心がけること。この授業での図面知識が1年次後期以降で学ぶCADのスキルに直結するので遅れが出ないよう授業を受ける。					
		注意点		授業に必要な教科書や製図道具がない場合、受講することができない。 提出課題は、期限を厳守すること。忘れ物、課題の遅滞や未提出には、厳しく対応する。 特に課題については、粗雑、不備がある、期限内に提出されない場合、評価の対象外となり単位を認めないので十分留意すること。			
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する				
	課題内容	40%	課題のコンセプト・アイデア・デザインを総合的に評価する				
	課題完成度	10%	課題の完成度について総合的に評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	図面の役割・図面の必要条件 「3製図法」			立体デザインの図面表現・ルールについて理解できる			
2回	線の種類と用法 図面の構成要素			「3製図法」図面枠、銘記欄、線の考え方を理解できる			
3回	投影法の種類「2図形の表し方」投影図法を理解する。実際に描いてみる。			基礎的な投影図法を理解し作図できる			
4回	三面図とアイソメトリック図法1			シンプルで基礎的な形態を三面図とアイソメトリック図に相互に置き換えて表現する事が出来る			
5回	三面図とアイソメトリック図法2			複雑な形態を三面図とアイソメトリック図に相互に置き換えて表現する事が出来る			
6回	図面の配置と正面図の選択			指定の用紙にバランスよく図面として配置できる 正確かつ丁寧に図形を表現できる			
7回	寸法記入法（寸法線・寸法数字・留意点、その他）			三面図に表現した図形に丁寧に美しく寸法線および数字を入れる事が出来る			
8回	断面図、R指示。実際に描く。ボルト、ナット各自現物を用意し、理解。			断面図の意味を理解し肉厚表現等出来る R指示理解し指示できる			
9回	Rのついた直方体の図面を描いてみる。Rと直線のつながりを美しく！			Rと直線についての関係性を理解し表現できる			
10回	スマートフォンの作図1			自分のスマートフォンを正しい投影法で紙面に表現することができる。			
11回	スマートフォンの作図2			自分のスマートフォンを詳しく観察し正しく3面図に寸法指示記入できる			
12回	スマートフォンの作図3：図面完成			スマートフォンの図面を最後まで仕上げる事ができる			
13回	一点透視図基礎			一点透視図基礎を理解し表現できる			
14回	二点透視図基礎			二点透視図基礎を理解し表現できる パースの概念を理解し表現できる			
15回	期末試験						